

北区新川高校の
生徒が発案！

清掃

地域を巻き込む 落ち葉ひろい

新川高校の生徒会メンバーの熱い思いに賛同した
新川小・新光小・新川西中の生徒たちと町内会が、
地域の公園の落ち葉ひろいに取り組んでいます。

ギュウ太が子どもにインタビュー！



新川高2年 三河 侑矢さん

合同落ち葉ひろいのリーダーとして、企画・運営を行った。生徒会の副会長も務めている。

ギュウ太 秋は紅葉がきれいだけど、落ち葉は厄介なこともありますよね！

三河 落ち葉は滑って転ぶ原因になったり、道路や公園の雨水を詰ませたりもするんだ。

ギュウ太 それで落ち葉ひろいを始めたんだね！

三河 うん。生徒会で話し合う中で、せっかくやるなら近くの小中学校や地域の方と一緒にできたらいいなっていうアイデアが生まれたんだ。

ギュウ太 みんなが協力してくれるか心配じゃなかつた？

三河 最初は不安だつたけど、

各校や町内会の方と話し合いを重ねるにつれて「できる」という気持ちに変わつていったよ。

ギュウ太 当日はたくさんの人たちが集まつたみたいだね。

三河 700人もの方々が来てくれたんだ。ひろつた落ち葉の量はなんとごみ袋80袋分！ 地域の人も喜んでくれたよ。

ギュウ太 地域をより良くするための仲間がいて心強いね！

三河 そうだね！ 今回のボランティアをきっかけにできた仲間を大切にしながら、これからも、人の役に立つ活動を続けていきたいです。

実現までの道のり

昨年 6月 新川高校のみで行っていた落ち葉ひろいを地域で行おうという意見が出る
7～10月 近隣の小中学校の生徒会や
町内会の役員との会議を重ねる

11月 4校と町内会の合同開催を実現！



地域の方に聞きました！

高校生を中心に 地域がつながった

身近な公園をきれいにするため、子どもから大人まで力を合わせて落ち葉を集めの姿に感動しました。地域の幅広い世代がつながる良い企画。こうした活動を今後も続けていけるといいですね。



新川町内会 澤林一彦さん

◀ 熊手を使って落ち葉をかき集める生徒たち。
協力して作業することで、学年を超えた交流が生まれた

